

| 1. 科目名（単位数）            | 福祉と教育（2 単位）   | 3. 科目番号 | GELA1329                |
|------------------------|---|---------|-------------------------|
| 2. 授業担当教員              | 石崎 達也   |         |                         |
| 4. 授業形態                | 講義（教科書）、演習（レポート作成）  | 5. 開講学期 | 通年                      |
| 6. 履修条件・他科目との関係        |   |         |                         |
| 7. 講義概要                | 東京福祉大学は「理論的・科学的能力と実践的能力を統合し、柔軟な思考力と問題発見・解決能力のある人材を育成する」ことを建学の精神としている。この精神の下、学生が主体となった教育の基礎である「読み、書き」を鍛錬する。本講義は現代社会の諸問題を題材として「読み、書き」のトレーニングおよび教科書の「ワーク」を活用したグループディスカッションを行う。ただし、ディスカッションについては授業の進度に応じて導入する。福祉、教育、保育、心理、医療などを学ぶ4年間の教育の基礎を身に付けることをを目指すとともに、社会における様々な課題に理解を深め、現代で新たに求められている能力とは何かを探求する。   |         |                         |
| 8. 学習目標                | 本講義では、①教科書を熟読し、内容を十分に理解すること②レポートを作成することで、書く力、文章作成能力を身に付け、課題解決能力を養い、今後の授業や将来社会で役立つ問題発見、課題探求能力を養うことを目標としている。  |         |                         |
| 9. アサインメント（宿題）及びレポート課題 | レポート課題：毎時間、「授業で読んだことについて、600字～800字程度で論述せよ。」というテーマでレポートを作成する   |         |                         |
| 10. 教科書・参考書・教材         | 【教科書】<br>與那嶺司・渡辺裕一・永野咲 編『基礎ゼミ社会福祉学』世界思想社  |         |                         |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法      | <p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書について理解することができたか。</li> <li>・教科書の内容を理解し、自分の意見も含め分かりやすい表現でレポートを作成することができたか。</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点（参加度・授業態度） 25%</li> <li>・理解度（毎回のレポート作成） 50%</li> <li>・期末評価（レポート） 25%</li> </ul> <p>3/4以上の出席が確認できない場合には単位を認めないととする。さらに、欠席、遅刻、早退は減点とする。</p> |         |                         |
| 12. 受講生へのメッセージ         | この科目では読み書きを通じて学問の基礎である文書読解能力、論理的思考力、文章作成能力を養っていただきたい。そのためにも、本授業に参加して、①教科書を熟読し内容をよく理解し、②思考力や問題解決能力を養うためにもレポート作成は欠かせない。   |         |                         |
| 13. オフィスアワー            | 授業開始時に知らせる。   |         |                         |
| 14. 授業展開及び授業内容         |   |         |                         |
| 講義日程                   | 授業内容  | 学習課題    |                         |
| 第1回                    | オリエンテーション（授業の進め方）<br><br>序章<br>「1 わからないけどおもしろい社会福祉学」「2 社会福祉における生きづらさ」の熟読<br>レポート作成  | 事前学習    | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|                        |   | 事後学習    | 本日の範囲を再度読み返しておく         |
| 第2回                    | 序章<br>「3 社会関係に支障をきたした社会的排除」「4 いきづらさを支える嘗み」の熟読<br>レポート作成   | 事前学習    | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|                        |   | 事後学習    | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |
| 第3回                    | 第1章<br>「1 親ガチャの背景にある社会構造」「2 子どもの貧困・貧困の再生産」の熟読<br>レポート作成   | 事前学習    | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|                        |   | 事後学習    | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |

|      |   |      |                          |
|------|---|------|--------------------------|
| 第4回  | 第1章<br>「3 子どもを困難な状況に追い込むのは誰か?」<br>「4 一人ひとりの子どもの権利を保障する社会へ」の熟読<br>レポート作成     | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第5回  | 第2章<br>「1 私たちはどこで暮らしたいのか」<br>「2 コンパクトシティと排除」の熟読<br>レポート作成                   | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第6回  | 第2章<br>「3 地域住民のパワーレス化」<br>「4 奪われた地域住民のパワーを取り戻す」の熟読<br>レポート作成                | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第7回  | 第3章<br>「1 認知症ってどんなイメージ」<br>「2 認知症って何?」の熟読<br>レポート作成                         | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第8回  | 第3章<br>「3 認知症の人に私たちは何ができるのか」<br>「4 これから家族と地域」の熟読<br>レポート作成                  | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第9回  | 第4章<br>「1 世界では今も人が売られている」<br>「2 被害者の実態」の熟読<br>レポート作成                        | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第10回 | 第4章<br>「3 なぜ人が売られるのか」<br>「4 私たちができることは何か」の熟読<br>レポート作成                      | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第11回 | 第5章<br>「1 住まいを失うこと」<br>「2 ホームレス状態の実態と理由」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)            | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第12回 | 第5章<br>「3 社会福祉はうまく機能するか」<br>「4 統計に表れないホームレス状態の広がり」の熟読、<br>レポート作成、(ディスカッション) | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 教科書の 105 頁から 112 頁を読んでくる |
| 第13回 | 第6章<br>「1 しかたがないに向きあう」<br>「2 障害者が施設に住むのはなぜ?」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)        | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第14回 | 第6章<br>「3 私は障害者とどう向き合う?」<br>「4 あたりまえの生活を問い合わせる」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)     | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる           |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく  |

|      |   |      |                         |
|------|---|------|-------------------------|
| 第15回 | 第7章<br>「1セクシュアリティとはなんだろう？」<br>「2性的マイノリティの生活課題を調べる」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)      | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |
| 第16回 | 第7章<br>「3性的マイノリティを抑圧する要因は何か」<br>「4多様性を尊重する社会づくりについて考える」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション) | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |
| 第17回 | 第8章<br>「1こども虐待に怒りを感じる皆さんへ」<br>「2家族に何が起こっているのか」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)          | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |
| 第18回 | 第8章<br>「3保護された子どもたちのその後」<br>「4人は人のなかで回復する」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)              | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |
| 第19回 | 第9章<br>「1罪を犯した人への支援は必要？」<br>「2日本は犯罪大国で危ない国？」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)            | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |
| 第20回 | 第9章<br>「3罰するだけだと社会での居場所を失う？」<br>「4社会の価値観を変え支援につなげる」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)     | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |
| 第21回 | 第10章<br>「1被災地のリアル」<br>「2被災者のニーズを想像する」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)                   | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |
| 第22回 | 第10章<br>「3地域を基盤とした災害支援」<br>「4平常時からの備えを考える」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)              | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |
| 第23回 | 第11章<br>「1難民とは誰のことなのか」<br>「2難民認定の過程で生じる問題」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)              | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる          |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく |

|      |   |      |   |
|------|---|------|---|
| 第24回 | 第11章<br>「3 日本における難民支援の実際」<br>「4 誰一人取り残さない世界の実現に向けて」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)     | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる  |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく   |
| 第25回 | 第12章<br>「1 日本の文化と民族って一つなの？」<br>「2 日本の植民地化・同化政策」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)         | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる  |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく   |
| 第26回 | 第12章<br>「3 ソーシャルワーカーは何をするべき？」<br>「4 日本の多文化共生社会にどう向き合う？」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション) | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる  |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく   |
| 第27回 | 終章<br>「1 社会福祉学入口問題」<br>「2 生きづらさをもとにした枠組み」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)               | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる  |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく   |
| 第28回 | 終章<br>「3 社会福祉学の境界線を拡大する」<br>「4 あらゆる生きづらさに向き合う実践の学」の熟読<br>レポート作成、(ディスカッション)      | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる  |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく   |
| 第29回 | 福祉に関する新聞記事を読み、グループでディスカッションと発表、レポートの作成  | 事前学習 | 新聞の朝刊を持参する  |
|      |   | 事後学習 | 新聞と自分のレポートを再度読み返しておく  |
| 第30回 | 「授業をとおして学んだこと」についてディスカッション、レポート作成の準備  | 事前学習 | 教科書の該当範囲を読んでくる  |
|      |   | 事後学習 | 本日の範囲と自分のレポートを再度読み返しておく<br>なお、期末レポートとして「授業をとおして学んだこと」について1000字前後のレポート提出（最後の授業から1週間後に提出、詳細は授業内で説明する） |